

公益社団法人日本地震工学会 第19回理事会議事録

A. 日時：2016年1月6日（水） 16時00分～ 19時07分

B. 場所：専売ビル 8F 第1会議室（東京都港区芝5-26-30）

C. 出席者：（会長）目黒公郎（副会長）志波由紀夫，中埜良昭，倉本 洋

（担当理事）副島紀代，吉見雅行，佐藤正行，藤川 智，大堀道広，高橋郁夫，中村いずみ，中村友紀子，小檜山雅之，片岡正次郎，原田健二，楠 浩一

（監事）中村 晋，勝俣英雄

欠席：甲斐芳郎，澤田純男，室野剛隆，藤原広行

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局員

D. 提出資料

資料 19-00 第19回理事会議事次第（副島理事）

資料 19-01 公益社団法人日本地震工学会第18回理事会議事録（案）（吉見理事）

資料 19-02 公益社団法人日本地震工学会第8回正副会長会議議事録（案）（吉見理事）

資料 19-03 会務報告（2015年10月14日～2016年1月6日）（副島理事）

資料 19-04 会計報告（佐藤理事・原田理事）

資料 19-05 日本学術会議関連対応報告（志波副会長）

資料 19-06 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会関連資料（目黒会長）

資料 19-07 年次大会（大会-2015）実施報告・優秀発表賞報告（中埜副会長）

資料 19-08 セミナー・Eディフェンス見学会実施報告（中村友紀子理事）

資料 19-09 地震災害対応委員会報告資料（楠理事）

資料 19-10 情報コミュニケーション委員会報告資料（小檜山理事・中村いずみ理事）

資料 19-11 論文編集委員会報告資料（大堀理事）

資料 19-12 【メール審議報告】2016年度日本地震工学会大会の会場・会期（吉見理事）

資料 19-13 【メール審議報告】「命を守る津波避難のシミュレーション」の開催（吉見理事）

資料 19-14 【メール審議報告】大会に関する規程類の改定（吉見理事）

資料 19-15 【メール審議報告】新入会員の承認（H27年11月）（吉見理事）

資料 19-16 【メール審議報告】第6回震災予防講演会の実施（吉見理事）

資料 19-17 平成28年1月理事会 個人会員 入退会一覧（藤川理事）

資料 19-18 平成27年度 日本地震工学会委員会委員名簿 2016.01.06 改訂（吉見理事）

資料 19-19 共催(2件) 後援(3件) 協賛(1件) 名義使用依頼審議資料(吉見理事)

資料 19-20 公益社団法人日本地震工学会論文賞細則の改定に関する資料（倉本副会長）

資料 19-21 定款・規程・規則類の改定案に関する資料（副島理事）

資料 19-22 2015 年度活動報告，2016 年度活動計画・予算案の作成に関する資料（副島理事・吉見理事）

資料 19-23 次年度理事会体制に関する資料（副島理事）

資料 19-24 学会ウェブサイトのトップページのレイアウト変更に関する資料（副島理事・小檜山理事）

資料 19-25 平成 27 年度功績賞，功労賞推薦に関する資料（副島理事）

20 名中 16 名の出席があり，理事会が成立していることが確認された。

0. 目黒会長より冒頭の挨拶があった

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 第 18 回理事会議事録（案）の確認（吉見理事 資料 19-01）

吉見理事より資料 19-01 を基に，前回議事録案が説明され，承認された。

2) 第 8 回正副会長会議報告（吉見理事 資料 19-02）

吉見理事より資料 19-02 を用いて正副会長会議の報告があった。

3) 会務報告（副島理事 資料 19-03）

副島理事より資料 19-03 を基に会務報告が行われた。

4) 会計報告（佐藤理事 資料 19-04）

佐藤理事より資料 19-04 を基に報告があった。吉田先生の講演会が好収支であった。年次大会の収支は 111 万円余りのプラスで予想を上回る収支であった。津波等の突発大災害からの避難に関する研究小委員会がセミナーを実施予定とのことで，黒字が出た場合は全て使いたいとの希望が有る。補正予算を組んで承認して対応する。→赤字が出た場合のルールも含めて検討する必要があるとの議論があった。

5) 日本学術会議関連（学術フォーラム等）対応報告（志波副会長 資料 19-05）

志波副会長より資料 19-05 に基づいて，日本学術会議関連の対応について報告された。防災学術連携体発足に伴い，本会から室野理事，楠理事の 2 名が連携委員として選出され，

志波副会長と共に 12 月 24 日に設立準備会に参加した件。同連携体のホームページが開設されており、各学協会のイベント紹介等を掲載できる見込みである件。1 月 9 日に「第 11 回学術フォーラム」が開催され、目黒会長、川島元会長が登壇する件。1 月 9 日のイベントはウェブ配信されること等が報告された。

6) 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会について（目黒会長 資料 19-06）
目黒会長より資料 19-06 を用いて福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会への参画について報告があった。平成 27 年 12 月 21 日の会合では、連絡会の今後の進め方について意見交換が行われたことが報告された。

7) 年次大会（大会-2015）実施報告・優秀発表賞報告（中埜副会長 資料 19-07）
中埜副会長より資料 19-07 に基づいて大会の実施報告があった。米国から 20 名、20 カ国を超える国から総勢 300 名以上の参加があり盛況であった。参加者数が見込みより多かったため収支は 111 万円余の黒字となり予想の 80 万円を上回った。2016 年度は高知で開催、2017 年度は関東での開催を想定している。優秀発表賞は発表者の 1 割程度を目処とし、大会当日に理事・監事と実行委員とで審議を行い受賞候補を選考した後、目黒会長の承認を得て計 9 名の対象者を決定し表彰した。以上のことが報告された。
→経験の継承のための規程、細則、ルール等を策定すべきではないかとの議論があった。
また、ポスター会場が盛況であったなど、大会の感想が懇談された。

8) セミナー・Eディフェンス見学会実施報告（中村友紀子理事 資料 19-08）
中村友紀子理事より資料 19-08 に基づいて、セミナー、Eディフェンス見学会について報告があった。参加者も集まり盛況に開催できたとのこと。

9) 地震災害対応委員会からの報告（楠理事 資料 19-09）
楠理事より資料 19-09 に基づいて報告があった。12 月 15 日に 6 学会連絡会で集まった結果、6 学会災害調査等積立規程の変更はせず本来の趣旨に沿った使い方を検討することになった。案としては 2020 年もしくは 2021 年に東北地方太平洋沖地震の 10 周年シンポジウムを行うことが挙げられた。連絡会の位置づけを明らかにするために規約を整備予定。

10) 情報コミュニケーション委員会報告（小檜山理事・中村いずみ理事 資料 19-10）
小檜山理事より資料 19-10 に基づいて IC 委員会の報告が行われた。地震工学会ウェブサイトのトップページにある東日本大震災のバナーからリンクするページとして、地震後 5 年

間の取り組みを紹介するページを整備中である。

1 1) 論文集編集委員会からの報告 (大堀理事 資料 19-11)

大堀理事より資料 19-11 に基づいて論文集編集状況が報告された。シンポジウム特集号の第 1 弾が発刊された。ページ超過料を発刊に向けての作業アルバイト代に充てることが報告された。また、論文集発刊に係る今後の課題 (投稿料《審査料および掲載料》, フォーマット, 特集号, 二重投稿等) について情報共有が行われた。

1 2) 会誌編集委員会からの報告 (高橋理事)

高橋理事より会誌編集委員会の進捗状況が報告された。2月号, 6月号共に東北地方太平洋沖地震の特集を組む。進捗は順調である。これまで東北の復興状況を会誌のコラムで報告してきたが, 10月号で一区切りとした。2月号からはスペシャルアドバイザーの連載を開始する。

1 3) 【メール審議】2016年度日本地震工学会大会の会場・会期 (吉見理事 資料 19-12)

吉見理事より資料 19-12 を基にメール審議の報告があった。

1 4) 【メール審議】「命を守る津波避難のシミュレーション」の開催 (吉見理事 資料 19-13)

吉見理事より資料 19-13 を基にメール審議の報告があった。

1 5) 【メール審議】大会に関する規程類の改定 (吉見理事 資料 19-14)

吉見理事より資料 19-14 を基にメール審議の報告があった。

1 6) 【メール審議】新入会員の承認 (H27年11月) (吉見理事 資料 19-15)

吉見理事より資料 19-15 を基にメール審議の報告があった。

1 7) 【メール審議】第6回震災予防講演会の実施 (吉見理事 資料 19-16)

吉見理事より資料 19-16 を基にメール審議の報告があった。

E 2. 議案

第1号 入退会者 (藤川理事 資料 19-17)

藤川理事より資料 19-17 を基に新入会員および退会者について説明され, 承認された。

第2号 委員会委員の委嘱（吉見理事 資料19-18）

吉見理事より資料19-18を基に委員会委員の委嘱について説明され、承認された。

第3号 共催・後援・協賛等（吉見理事 資料19-19）

吉見理事より資料19-19を基に、継続案件である共催1件、後援3件、協賛1件が説明され、承認された。新規案件である日本学術会議総合工学委員会原子力事故対応分科会からの共催依頼については態度保留とし、1月13日の説明会に志波副会長を派遣したうえで共催・後援等を判断し、メール審議にかけることとした。

第4号 論文賞細則の改定（倉本副会長 資料19-20）

倉本副会長より資料19-20を基に論文賞細則の改定（重賞禁止規定の廃止）が提案され承認された。

→論文賞の募集では、募集要項に細則をそのまま載せるのではなく、分かり易い言葉で論文の著者全員が受賞対象である旨を示すことが提案された。

E3. 懇談事項

18) 定款・規程・規則類の改定案（副島理事 資料19-21）

副島理事より、資料19-21を用いて定款、規程、細則の改定についての方針とスケジュールが説明された。

19) 震災対策技術展・ブース展示について（副島理事・中村友紀子理事）

副島理事より、2月に実施される震災対策技術展のブース展示内容、担当について説明があった。研究委員会のパネルを展示するほか、展示したい研究委員会を募ることとする。

20) 2015年度活動報告、2016年度活動計画・予算案の作成について（副島理事・吉見理事 資料19-22）

副島理事より資料19-22を基に、次年度活動計画・予算原案作成について説明が行われた。内閣府提出資料、総会資料の元にもなるためご協力いただきたい。予算については必要経費をきちんと積むようお願いする。

21) 新規調査研究委員会の募集について（倉本副会長）

倉本副会長より、研究委員会の新規募集についての報告があった。5研究委員会のうち3研究委員会が終了時期を迎えるが、うち2委員会が継続を希望しているとのこと。

22) 次年度理事会体制について (副島理事 資料 19-23)

副島理事より資料 19-23 を基に次年度理事会体制についての説明があった。

23) 学会ウェブサイトのトップページのレイアウト変更について (副島理事・小檜山理事 資料 19-24)

副島理事より、資料 19-24 を基に学会ウェブサイトのトップページのレイアウト変更案が示された。

24) ESG 国際シンポジウム 日本開催の提案について (倉本副会長)

倉本副会長より、ESG 国際シンポジウムの東京開催を IAEE と共同で提案することについて、東委員長から話があったと説明があった。

25) 今後の予定について (副島理事 資料 19-25)

副島理事より資料 19-25 を基に、功績賞、功労賞の推薦スケジュールについて報告があった。

次回予定：平成 28 年 3 月 15 日 (火) 16:00 より

記録担当：総務理事 吉見雅行

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 28 年 3 月 15 日

議 長 目 黒 公 郎

監 事 中 村 晋

監 事 勝 俣 英 雄